

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	ひとり親家庭の父母等及びその児童	意図	ひとり親家庭等の経済的負担及び精神的不安の軽減を図り、ひとり親家庭の父母等の福祉の増進に資する。
事業内容	ひとり親家庭の父母等及びその児童に係る保険医療給付の一部負担金額の一部等を助成する（所得制限は児童扶養手当に準じる。）。			
事業開始から現在までの状況変化	子ども医療費助成制度の拡大等により、子の医療費は減少傾向にあるが、保護者の医療費は増加傾向にある。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	申請件数	9,568	10,284	10,623	件	↑↑↑
②	延受給世帯数	1,586	1,541	1,515	世帯	↑↑↑	現年度/前年度
③	助成額	24,092	25,945	26,782	千円	↑↑↑	現年度/前年度
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	39,953,356	36,097,174	32,862,499
事業費(b)(円)	32,055,856	28,337,374	29,109,899
うち一般財源	24,154,651	19,843,586	20,305,938
職員給与と費(c)(円)	7,897,500	7,759,800	3,752,600
人役・職員(人)	0.90	0.90	0.30
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	1.00	1.00	1.00
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

ひとり親家庭の父母等への医療費負担の軽減が主となっている。子どもに対する医療費助成は、子ども医療費助成制度により現物給付で助成されるため金額が抑えられているが、保護者に対する助成は増加傾向にある。一月当たり800件前後の請求があり、全て償還払いのため事務処理が煩雑となり時間を要する。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	引き続き現物給付への移行を千葉県に要望する。	③取組における課題(Check)	現物給付化は県内一斉に行ってほしいが、各市町村の様々な意見があるので慎重に議論していく必要がある。現物給付に移行した場合は、医療費・事務費の増加が見込まれる。
②H30に実施した取組(Do)	千葉県に現物給付への移行を継続して要望している。県内市町村担当者会議に出席し、改めて現物給付化に賛成する立場を示した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続き現物給付への移行を千葉県に要望する。